

第2期海南市スポーツ推進計画

～ スポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり ～

令和3～7年度



海南市教育委員会

第2期海南市スポーツ推進計画

目 次

第1章 策定にあたって

I	計画策定の目的	1
II	計画の位置づけ	1
III	計画の期間	2
IV	計画の推進体制	2

第2章 海南市の現状と課題

I	統計に見る海南市	3
II	アンケート調査の結果	4
III	第1期計画指標の達成状況	12
IV	現状と課題	15

第3章 理念と施策

I	基本理念	16
II	計画の体系	16
III	施策目標と基本施策	17
	施策目標1. 子どもの運動習慣づくりと体力の向上	17
	施策目標2. ライフステージに応じたスポーツ機会の提供	19
	施策目標3. 地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり	21

資料編

■	P. 23	補足資料
■	P. 28	計画の策定経過
■	P. 31	海南市スポーツ推進審議会委員名簿

第1章 策定にあたって

I. 計画策定の目的

スポーツは、身体を動かすことによる健康及び体力の保持増進とともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等の精神的な充足感、自律心の涵養等を得ることができ、ひいては生涯にわたって心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものとなっています。また、スポーツ基本法では「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利」と規定されています。

国においては、平成 27 年 10 月にスポーツを通じ「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現を目的に「スポーツ庁」が創設され、平成 29 年 3 月にはスポーツに係る施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「第 2 期スポーツ基本計画」が策定されました。

和歌山県においては、平成 30 年 4 月に「和歌山県スポーツ推進計画」が策定されました。「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」開催によって培われた人材・組織・施設等を最大限に有効活用し、県民のスポーツへの興味・関心をさらに高め、スポーツの日常化につながることを目指した計画となっています。

このような法制度や社会情勢の変化を踏まえ、全ての市民がスポーツに親しむ環境整備を進め、「海南市のスポーツの推進」と「スポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり」を引き続き推進していくため、「(第 1 期) 海南市スポーツ推進計画」の見直しを行い、「第 2 期海南市スポーツ推進計画」を策定いたします。

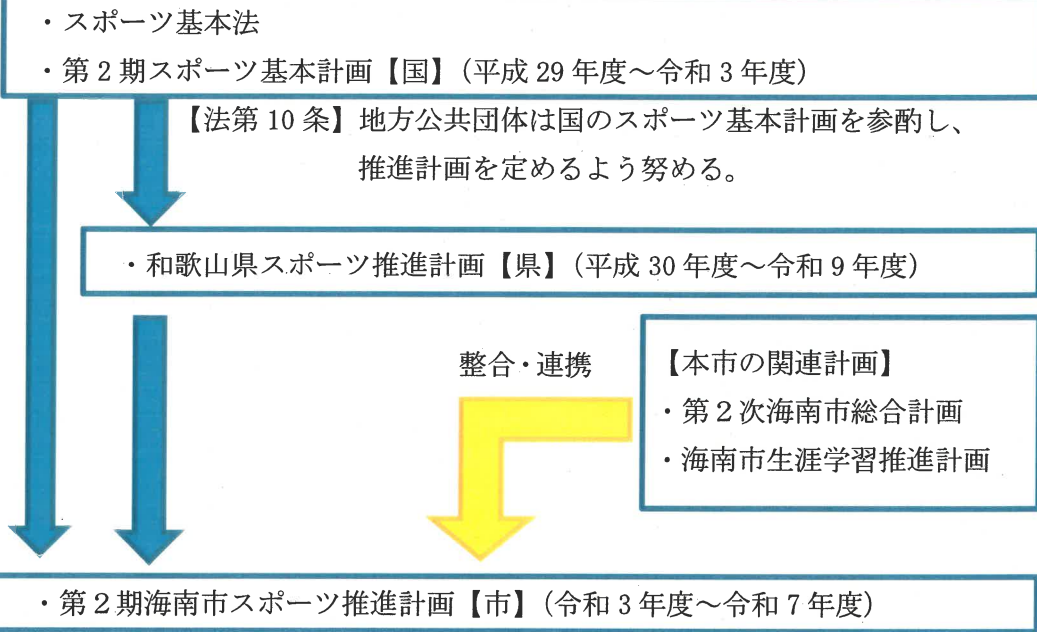
II. 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法」の基本理念にのっとり、スポーツの施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、海南市の特性に応じたスポーツ施策を実施するため、国の「第 2 期スポーツ基本計画」を参酌して、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画です。

内容については、平成 28 年 3 月に策定した「(第 1 期) 海南市スポーツ推進計画」の成果、進捗を確認したうえで見直しを行い、今後の本市のスポーツ推進の在り方、施策等の方向性を定めるものとします。

加えて、「第 2 次海南市総合計画」や、「海南市生涯学習推進計画」などの関連する計画と整合性を持たせるものとし、関連する計画の改定があった場合や、社会情勢や進捗状況及び市民ニーズの変化などにより、本計画の見直しが必要となった場合は、海南市スポーツ推進審議会に諮問する等、適切に対応することとします。

●第2期海南市スポーツ推進計画の位置付け

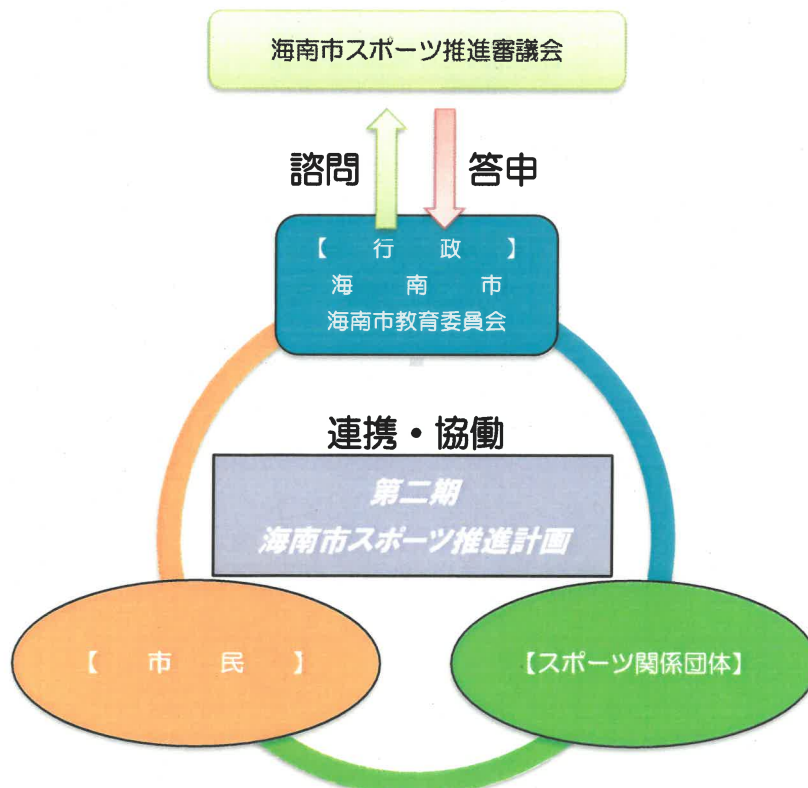


Ⅲ. 計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とします。

Ⅳ. 計画の推進体制

本計画を推進するにあたっては、以下のとおり、行政、市民、各種スポーツ団体など関連する各機関と連携・協働を図りながら推進していくこととします。



第2章 海南市の現状と課題

I. 統計に見る海南市

人口推移

海南市の総人口の推移をみると、平成 27 年度では 53,055 人であったのが、令和元年度には 50,030 人となり、この 5 年間で 3,025 人 (5.7%) 減少しています。

年齢別でみてみると 20 歳未満は 8,105 人から 7,194 人と、911 人減少しており、11.2% 減少したことになります。この少子高齢化の影響により、市民のスポーツに対するニーズも変化し、新たなニーズに応じた施策の実施や、関係団体の連携が必要となると予想されます。



総務省統計局発表 (各年 3 月 31 日現在)

Ⅱ. アンケート調査の結果

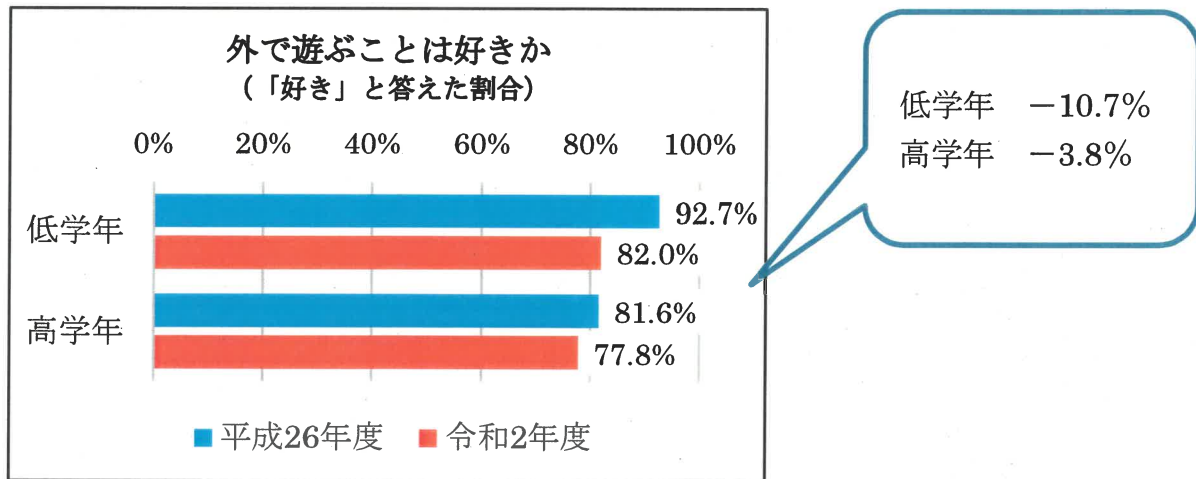
第2期海南市スポーツ推進計画の策定にあたり、「海南市民のスポーツ意識に関する調査」（以下「アンケート調査」という。）を実施しました。

今回のアンケート調査については、新型コロナウイルス感染症対策で休校していた学校やスポーツ施設が再開した直後である8月の調査であることも考慮する必要がありますが、現時点における本市のスポーツライフの指標のひとつとします。

- ・ 調査対象 令和2年8月1日現在、市内小中学校に通学する小中学生
令和2年7月1日現在、海南市に居住する18歳以上の男女を等間隔無作為抽出（抽出ソフト使用）
- ・ 調査期間 令和2年8月1日～8月31日
- ・ 発送・回収数

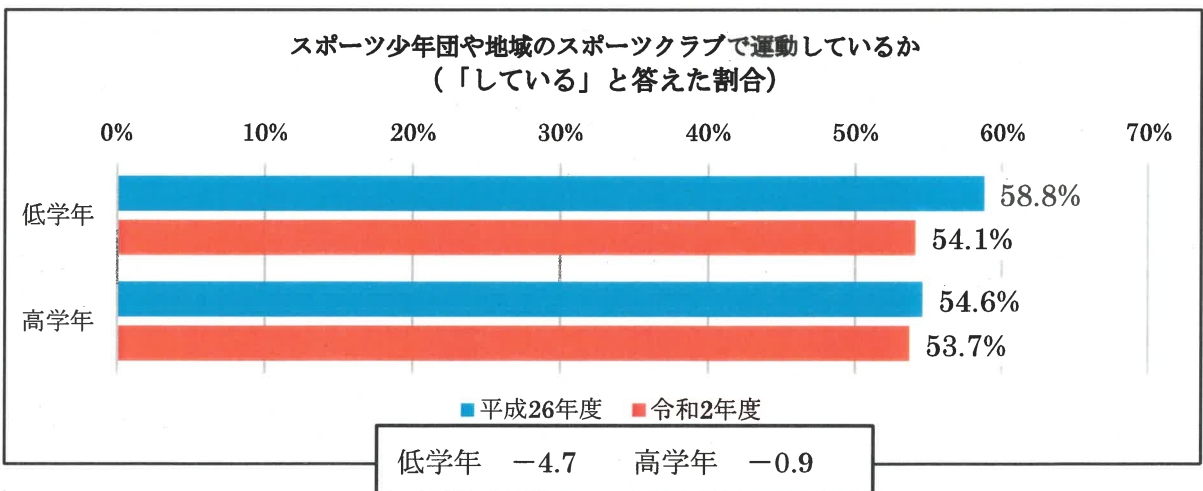
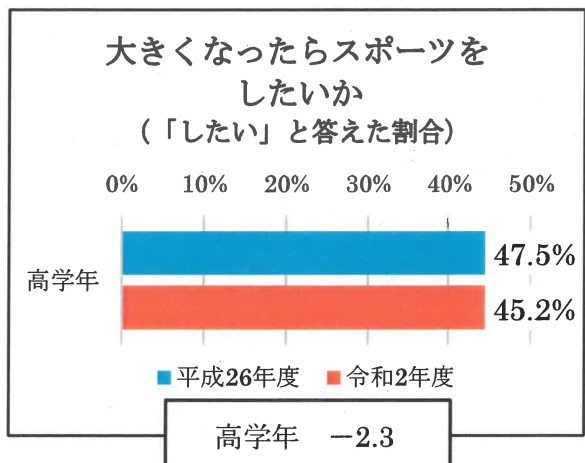
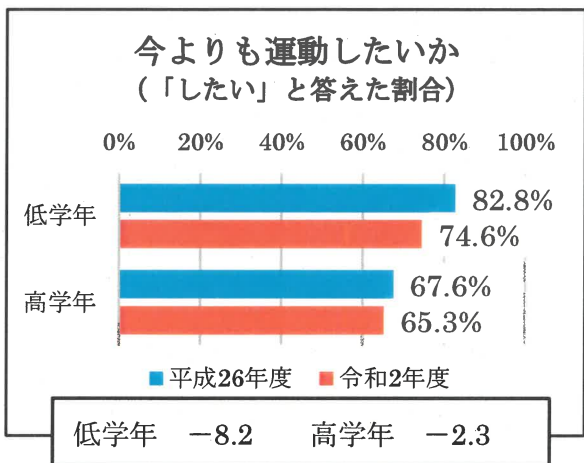
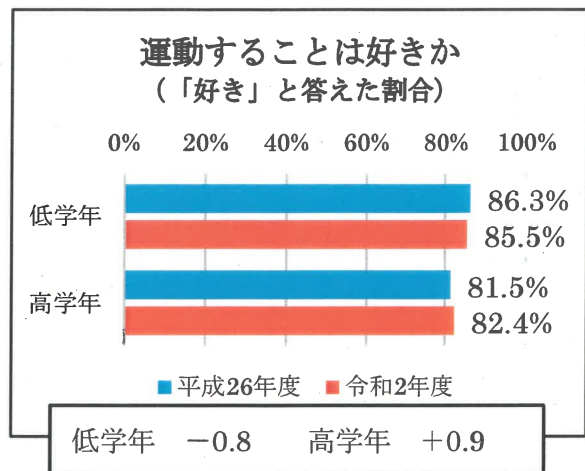
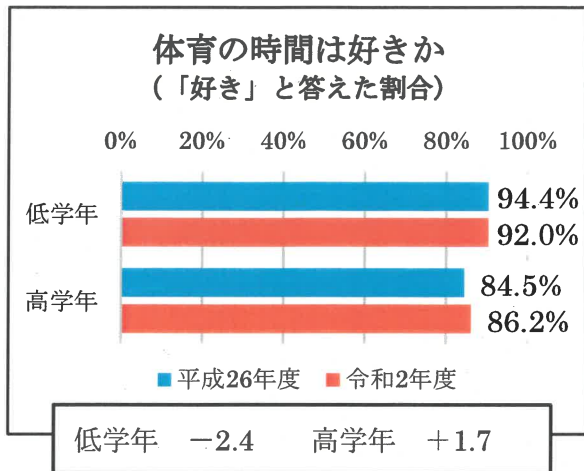
	発送数	回収数	回収率
小学生	2,048	2,015	98.4%
中学生	1,013	1,008	99.5%
成人	1,200	510	42.5%

小学生



外で遊ぶ時間帯（各時間帯で遊ぶかとの問いに「はい」と答えた割合）

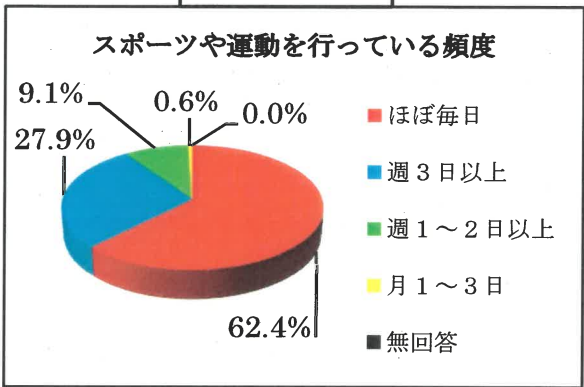
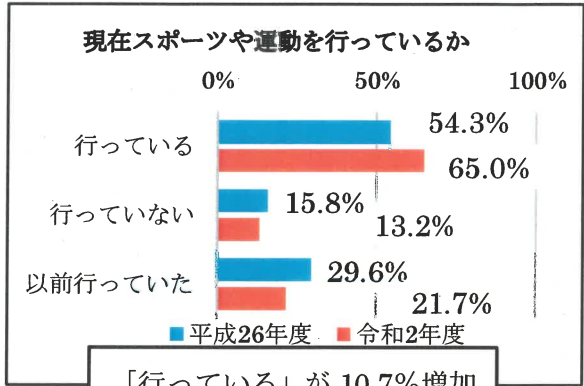
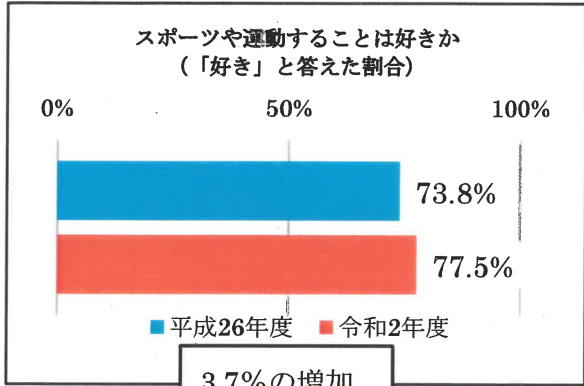
		平成26年度	令和2年度	増減
低学年	学校の休み時間	83.2%	73.6%	▲ 9.6
	家に帰ってから	51.9%	34.9%	▲ 17.0
	学校が休みの日	69.5%	63.8%	▲ 5.7
高学年	学校の休み時間	61.1%	56.8%	▲ 4.3
	家に帰ってから	44.5%	39.5%	▲ 5.0
	学校が休みの日	56.7%	56.5%	▲ 0.2



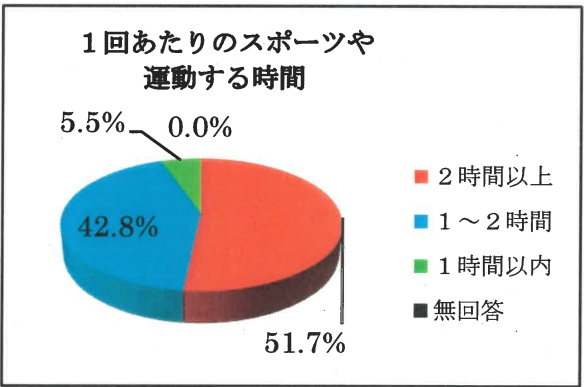
【考察】

- ・全体としては運動が好き割合(体育が好き、運動が好き)は大きく変わっていない。
 - ・低学年に、「外遊び好き」、「体育が好き」、「運動が好き」「今よりも運動したい割合」の減少傾向がみられる。
 - ・地域のスポーツクラブ等で運動している割合は減少している。
- ※新型コロナウイルス感染症予防などの生活様式の変化も考慮する必要がある。

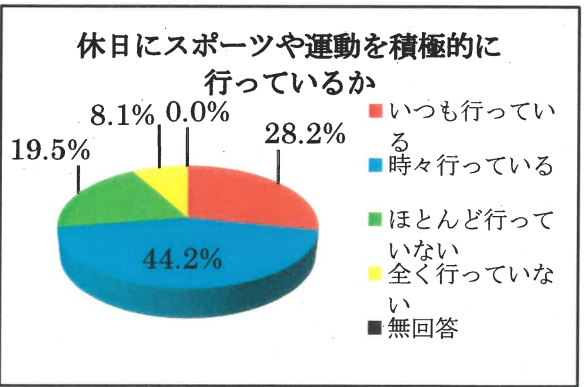
中学生



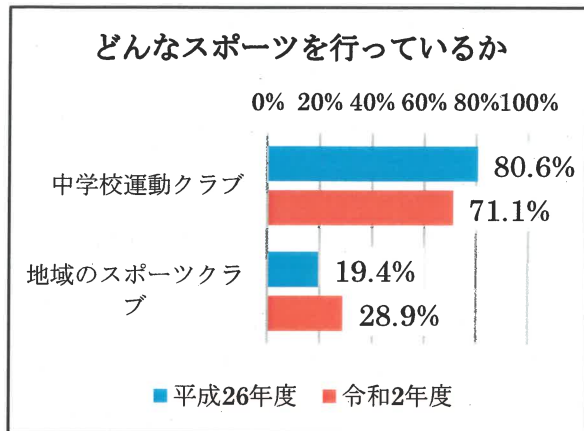
	前回	今回	増減
ほぼ毎日	84.0%	62.4%	-21.6%
週3回以上	9.3%	27.9%	+18.6%
週1~2回	4.6%	9.1%	+4.5%
月1~3回	1.0%	0.6%	-0.4%
無回答	1.0%	0.0%	-1.0%



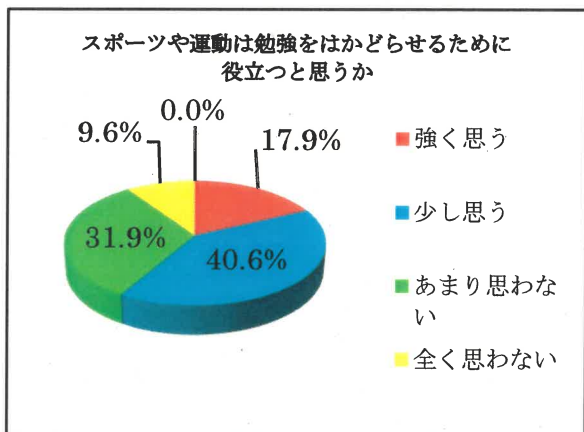
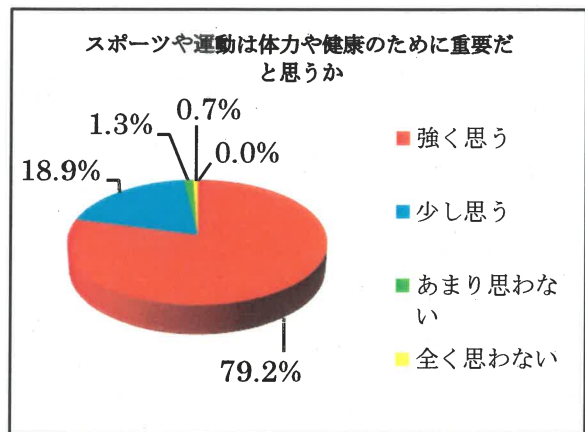
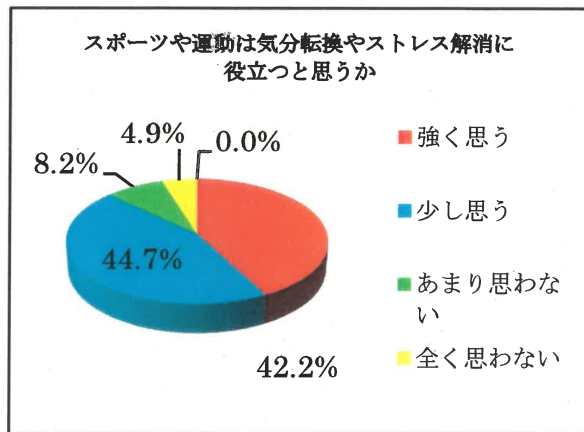
	前回	今回	増減
2時間以上	42.5%	51.7%	+9.2%
1~2時間	49.6%	42.8%	-6.8%
1時間以内	6.4%	5.5%	-0.9%
無回答	1.5%	0.0%	-1.5%



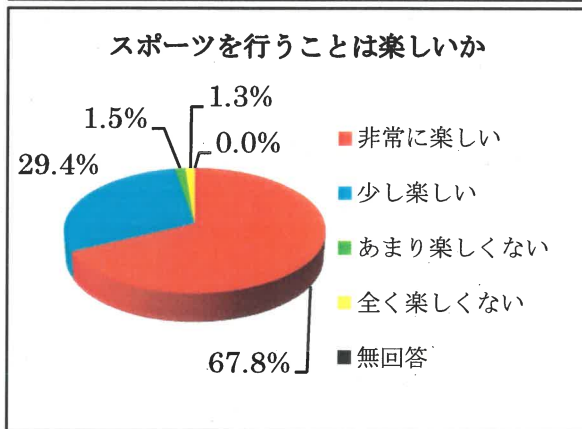
	前回	今回	増減
いつも行っている	29.0%	28.2%	-0.8%
時々行っている	32.2%	44.2%	+12.0%
ほとんど行っていない	25.2%	19.5%	-5.7%
全く行っていない	13.4%	8.1%	-5.3%
無回答	0.2%	0.0%	-0.2%



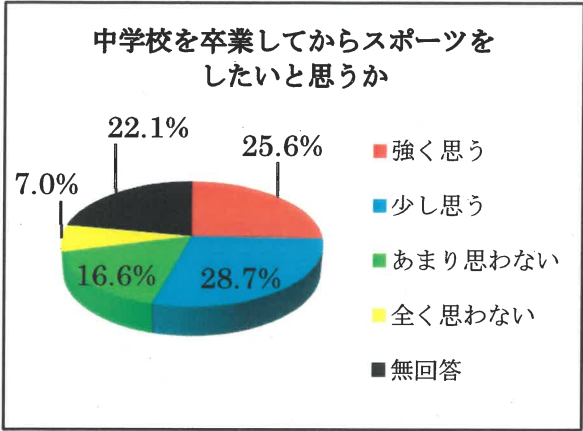
中学校クラブが9.5%減少し、地域のクラブが9.5%増加している。



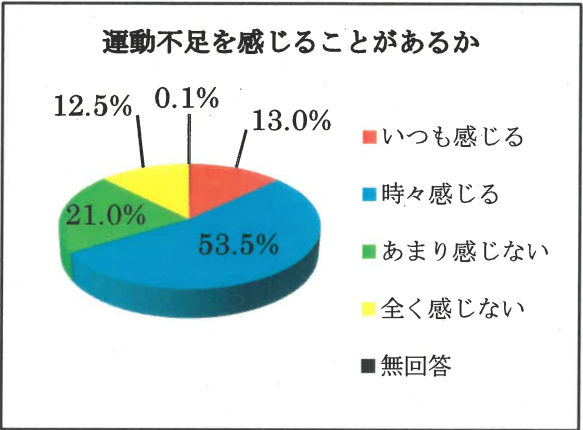
半数以上が、スポーツや運動が健康やストレス解消、勉強にも良い影響を与えると理解できている。



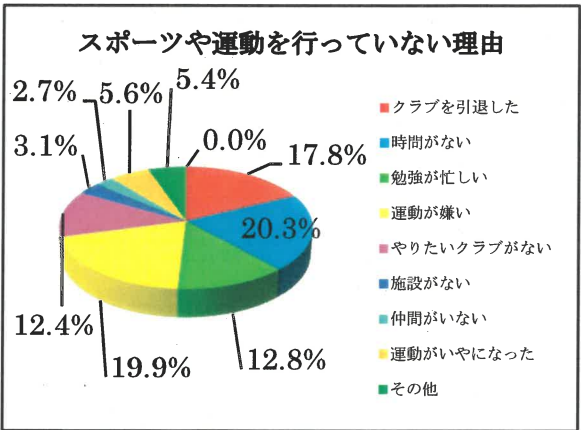
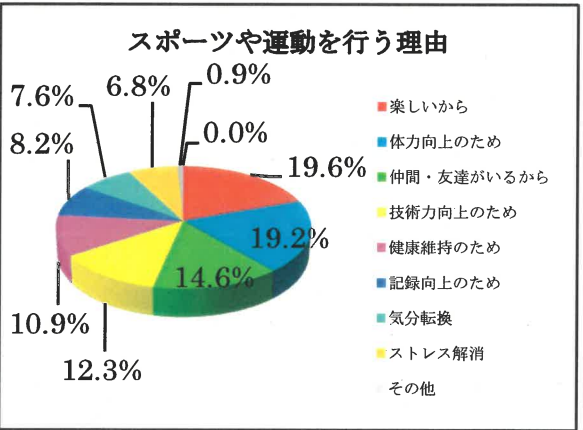
	前回	今回	増減
非常に楽しい	55.4%	67.8%	+12.4%
少し楽しい	34.7%	29.4%	-5.3%
あまり楽しくない	5.2%	1.5%	-3.7%
全く楽しくない	0.4%	1.3%	+0.9%
無回答	0.2%	0.0%	-0.2%



	前回	今回	増減
強く思う	26.5%	25.6%	-0.9%
少し思う	33.7%	28.7%	-5.0%
あまり思わない	21.5%	16.6%	-4.9%
全く思わない	7.2%	7.0%	-0.2%
無回答	11.2%	22.1%	+10.9%



	前回	今回	増減
いつも感じる	18.0%	13.0%	-5.0%
時々感じる	51.4%	53.5%	+2.1%
あまり感じない	21.2%	21.0%	-0.2%
全く感じない	9.2%	12.5%	+3.3%
無回答	0.1%	0.1%	0.0%

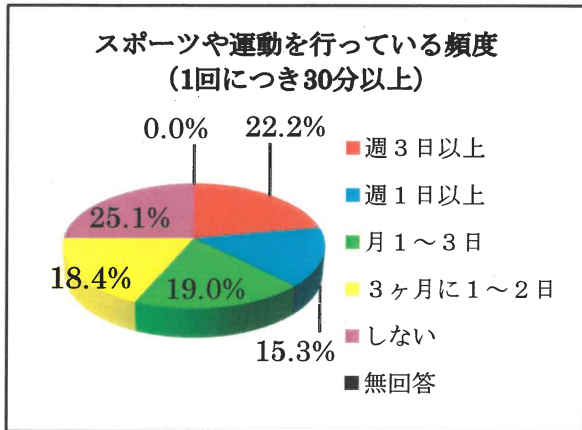


【考察】

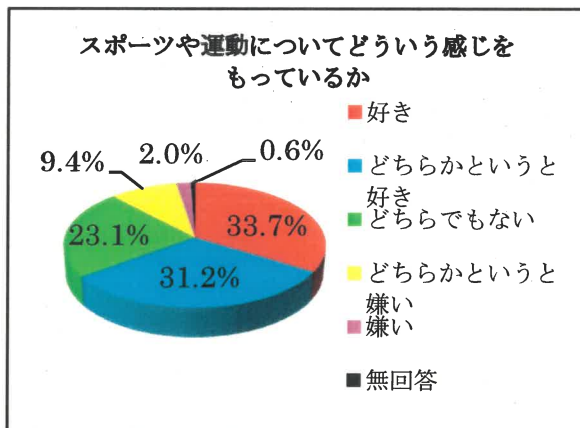
- ・スポーツを行っている割合、楽しいと感じる割合は増加している。
- ・運動が健康やストレス解消、勉強にも良い影響を与えると理解できている。
- ・しかしながら、運動不足を感じる割合も高い。
- ・学校部活動への取り組みの影響などから、地域のスポーツクラブなどで活動する割合が増加している。

成人

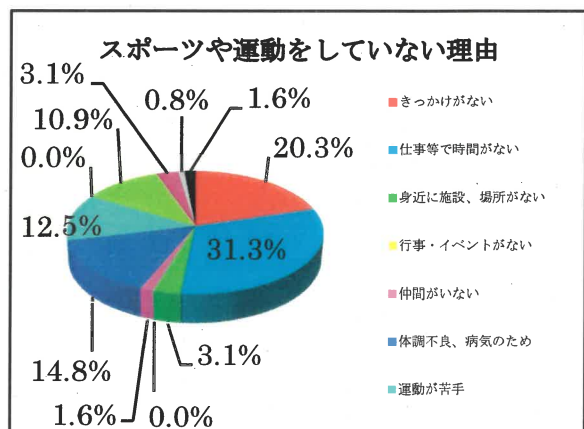
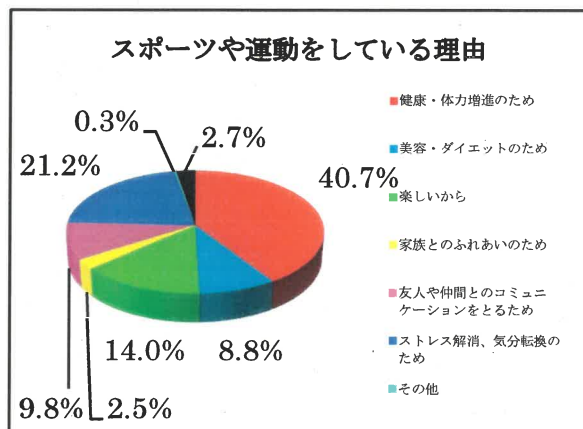
国の「第2期スポーツ基本計画」では、成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)にすることを目標にしています。海南市の週1回以上(週3回以上を含む)のスポーツ実施率は37.5%となっています。

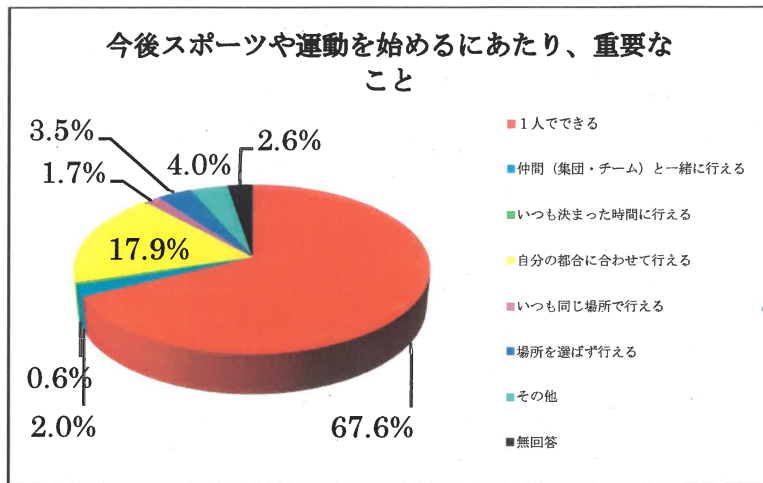


	前回	今回	増減
週3回以上	15.7%	22.2%	+6.5%
週1回以上	14.8%	15.3%	+0.5%
月1~3回	18.0%	19.0%	+1.0%
3ヶ月に1~2回	18.0%	18.4%	+0.4%
しない	32.1%	25.1%	-7.0%
無回答	1.3%	0.0%	-1.3%



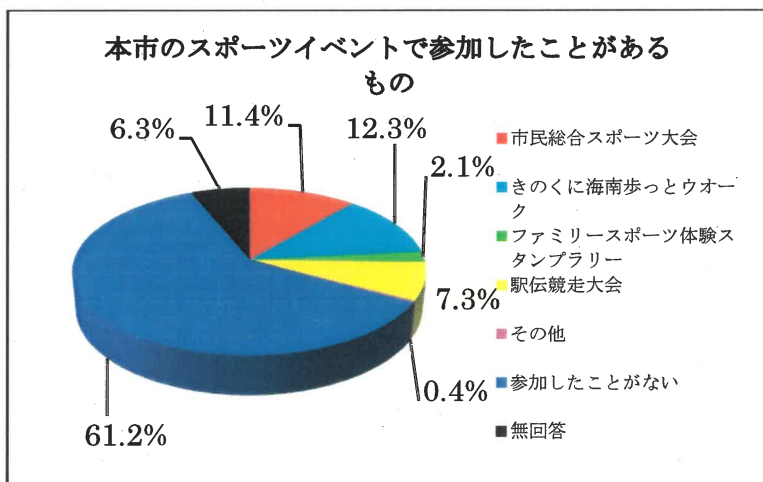
	前回	今回	増減
好き	36.1%	33.7%	-2.4%
どちらかという好き	28.9%	31.2%	+2.3%
どちらともいえない	22.3%	23.1%	+0.8%
どちらかという嫌い	8.9%	9.4%	+0.5%
嫌い	2.9%	2.0%	-0.9%
無回答	0.9%	0.6%	-0.3%



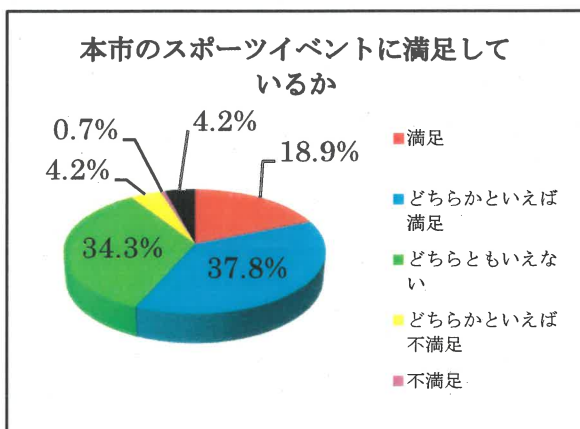


「一人でできること」が67.6%と急増している。市民のニーズが大きく変化している。

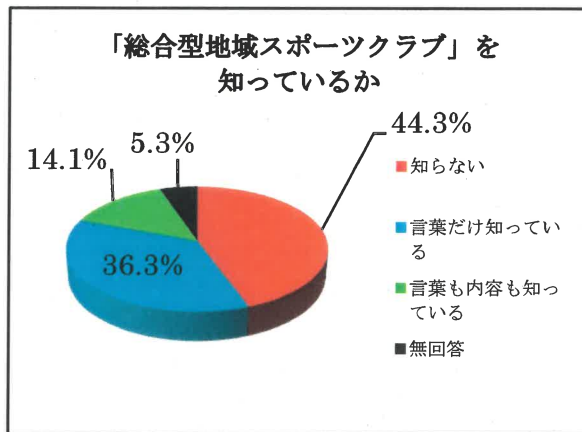
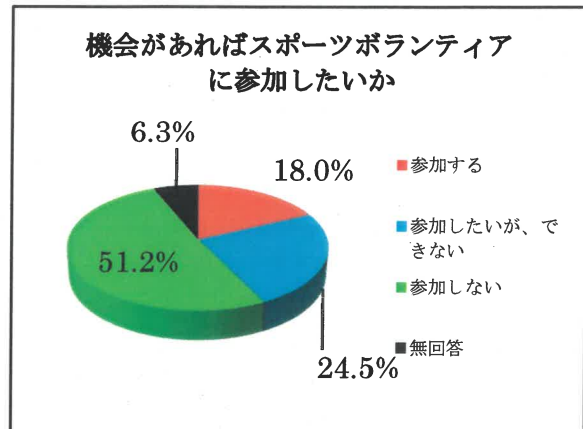
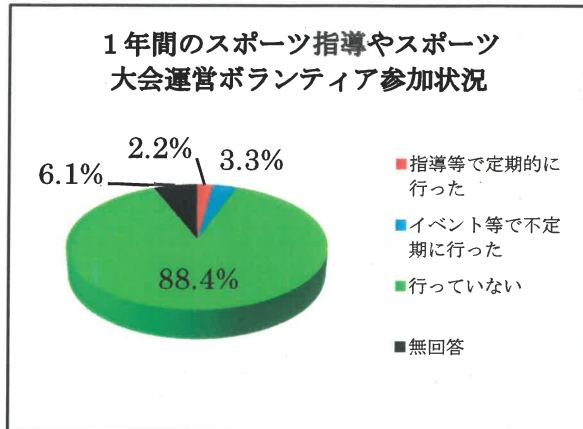
「運動・スポーツについてどういう感じを持っているか」の問いでは、約3分の2（「好き」33.7%+「どちらかという好き」31.2%）がスポーツに良い印象を持っています。スポーツや運動をしていない理由として多かったのは、「仕事等で時間がない」「きっかけがない」でした。今後スポーツを始めるにあたり重要なことは「一人でできること」が67.6%と急増しており、市民のニーズの変化がうかがえます。



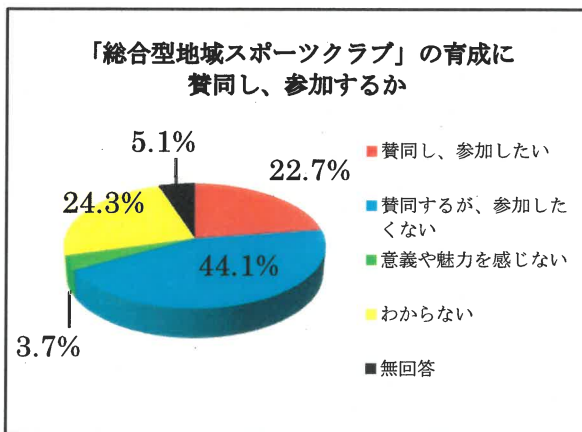
本市のスポーツイベント参加経験者は約3分の1...



	前回	今回	増減
満足	15.4%	18.9%	+3.5%
どちらかといえば満足	34.0%	37.8%	+3.8%
どちらともいえない	22.3%	34.3%	+12.0%
どちらかといえば不満足	5.9%	4.2%	-1.7%
不満足	5.9%	0.7%	-5.2%
無回答	16.5%	4.2%	-12.3%



	前回	今回	増減
知らない	49.8%	44.3%	-5.5%
言葉だけ知っている	29.8%	36.3%	+6.5%
言葉も内容も知っている	10.5%	14.1%	+3.6%
無回答	9.8%	5.3%	-4.5%



	前回	今回	増減
賛同し、参加したい	23.9%	22.7%	-1.2%
賛同するが、参加したくない	39.3%	44.1%	+4.8%
意義や魅力を感じない	3.4%	3.7%	+0.3%
わからない	23.6%	24.3%	+0.7%
無回答	9.8%	5.1%	-4.7%

スポーツボランティアには、常的なスポーツ指導・運営ボランティアや、イベント開催時のボランティア等がありますが、「行っていない」が88.4%、機会があっても「参加しない」が51.2%となっています。総合型地域スポーツクラブについても認知度は上がっていますが、「賛同し参加したい」の割合が低く、「支えるスポーツ」への理解・普及が必要な状況です。

【考察】

- ・スポーツを行っている割合は増加している。
- ・スポーツを行っていない人は、「一人で、自分の都合で実施したい」という意向が強い。
- ・市のスポーツイベントの満足度は増加しているが、6割は不参加のままである。
- ・スポーツボランティアなど「ささえるスポーツ」に対する理解・普及が必要と考えられる。

Ⅲ. 第1期計画 指標の達成状況

「(第1期) 海南市スポーツ推進計画」では、3つの施策目標の進捗状況を図るために、施策目標ごとに成果指標と目標値を設定し、施策の進捗状況を把握することとしました。第1期計画の指標の達成状況は以下のとおりとなっています。

[施策目標 1. 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進]

指標① 子どもの体力・運動能力テストの数値^{※1}

	基準値 (平成27年度)		目標値 (令和2年度)	現状値 ^{※2} (令和元年度)	達成状況
	小学校5年生	男	50.7	全国平均を 上回る	51.3
	女	52.1	52.3		+2.3
中学校2年生	男	49.6	50.1		+0.1
	女	49.8	50.6		+0.6

※1: 全8種目の合計点のTスコア(全国平均を50とした場合の相対的な位置)による。

※2: 令和2年度はコロナの影響で、実施できない種目があったため、令和元年度の数値とする。

指標② 運動好きな子どもの割合(小・中学生)^{※3}

基準値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	現状値 (令和2年度)	達成状況
80.6%	85.0%	80.8%	-4.2%

※3: 海南市民のスポーツ意識に関する調査の小中学生の平均値とする。

指標③ 総合型地域スポーツクラブで活動する子どもの延べ人数(小・中学生)

基準値 (平成26年度実績)	目標値 (令和2年度)	現状値 (令和元年度実績)	達成状況
42,037人 ^{※4}	45,000人	40,892人 ^{※5}	-4,108人

※4: 市内3クラブの教室参加者(延べ人数)

※5: 令和2年3月がコロナの影響で事業実施できていないため、4月~2月の実績×12/11で積算。

【考察】

指標①子どもの体力・運動能力テストの数値については全国平均値5.0を上回ることを目標にしてきた結果、すべての部門で全国平均を上回る結果となりました。

指標②運動好きな子どもの割合(小・中学生)については85.0%を目標としてきましたが、数値の増加は見られず、アンケート結果なども踏まえると、低学年の運動離れがみられ、小さいころからの運動習慣づくりが必要であると考えられます。

指標③総合型地域スポーツクラブで活動する子どもの延べ人数については、基準値より減少する結果となり、少子化の影響が大きいものと考えられます。

[施策目標 2. 生涯スポーツ活動の推進]

指標④ 週 1 回 30 分以上の運動（散歩も含む）やスポーツを行っている割合（％）

基準値 (平成 27 年 6 月)	目標値 (令和 2 年度)	現状値 (令和 2 年 6 月)	達成状況
49.1% ^{※6}	65.0%	47.7%	-17.3%

※6：海南市総合計画基本計画に関する市民アンケート

指標⑤ スポーツ施設（社会体育施設）の利用人数（人）

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	現状値 (令和元年度)	達成状況
360,639 人	415,000 人	411,104 人	-3,896 人

指標⑥ 総合型地域スポーツクラブで活動する成人の延べ人数（人）

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	現状値 (令和元年度)	達成状況
17,830 人 ^{※7}	20,000 人	13,965 人 ^{※8}	-6,035 人

※7：市内 3 クラブの教室参加者（延べ人数）

※8：令和 2 年 3 月がコロナの影響で事業実施できていないため、4 月～2 月の実績×12/11 で積算。

【考 察】

指標④週 1 回 30 分以上の運動（散歩も含む）やスポーツを行っている割合については、基準値より 1.4%の減少となり、国の目標値でもある 65%には到達できていません。

指標⑤スポーツ施設（社会体育施設）の利用人数については、目標にはとどきませんでしたが、基準値から約 5 万人上昇しており、総合体育館トレーニングルームや海南スポーツセンターなどの活用が進んでいるととらえられます。

指標⑥総合型地域スポーツクラブで活動する成人の延べ人数については、基準値より減少するかたちとなりました。アンケート結果も踏まえると、クラブやサークルに加入してスポーツをするより、個人でスポーツするという方向にニーズが変化していると考えられます。

〔 施策目標 3. 海南市の地域性を活かしたスポーツ活動の推進 〕

指標⑦ スポーツイベントの満足度 (%)

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	現状値 (令和 2 年 8 月)	達成状況
49.4% ^{※9}	60.0%	56.7%	-3.3%

※9：海南市民のスポーツ意識に関する調査

指標⑧ スポーツイベントの参加者数 (人)

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	現状値 (令和元年度)	達成状況
8,714 人 ^{※10}	10,000 人	8,121 人	-1,879 人

※10：平成 26 年度実績

【考 察】

指標⑦スポーツイベントの満足度については、基準値より 7.3%向上し目標値に近づいています。本市のスポーツイベントは、きのくに海南歩つとウオークの地域による「おもてなし」などが特徴であり、引き続き地域と連携した事業を実施し、地域の魅力を発信する機会とすることが重要だと考えられます。

指標⑧スポーツイベントの参加者数については、基準値を下回る結果となりました。本市のスポーツイベントでは歩つとウオーク以外の事業では参加者が減少しており、人口減少が大きく影響していると考えられます。



IV. 現状と課題

アンケート調査の結果と第1期計画の指標の達成状況、今後のスポーツ施策を考えるうえで影響がある「人口減少」「少子高齢化」そして、新型コロナウイルス感染症などの影響による「社会情勢の変化」などを踏まえ、本市の現状と課題を以下のように整理しました。

1. 子どもの運動習慣づくり

アンケートでは、特に小学校低学年で運動（外遊び）が好きな割合が低下し、スポーツ少年団や地域スポーツクラブへの加入率も減少しています。現在、全国平均を上回っている子どもたちの体力を維持していくためには、継続的な運動習慣づくりが必要であるため、低年齢期においては親子でスポーツができる環境づくり、就学後においては、学校と地域におけるスポーツの機会づくりの充実を図る必要があります。

2. 多様なニーズ、ライフステージに対応したスポーツ機会の提供

この5年間で人口が5.7%、20歳以下の人口では11.2%減少するなど、少子高齢化が進行しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、我々の生活様式は大きく変化し、スポーツに対するニーズもさらに多様化していくことが予想されます。

今後は、それぞれの生活スタイルや、ライフステージに応じてスポーツに取り組むことができる環境づくりが重要であると考えられるため、引き続き、スポーツ施設の整備やスポーツ情報の提供をすすめるとともに、新しい生活様式に対応したスポーツイベントの在り方についても検討していく必要があります。

3. 「ささえるスポーツ」による多様なスポーツ参画の推進

アンケートでは、「スポーツボランティアを行ったことがない」割合が88.4%を占め、「今後も参加しない」と考えている割合も51.2%となっています。

スポーツには、「する」だけでなく、「みる」ことによる感動や、「ささえる」ことによる共感・交流など様々な効果があり、「スポーツを通じた地域づくり」を進めるために、地域の特性を活かしたスポーツイベントを実施していくとともに、「ささえるスポーツ」による多様なスポーツ参画を広めていく必要があります。

4. 各種団体の連携によるスポーツ環境づくり

学校部活動への取り組みの影響などから、中学生のスポーツ実施場所が10%近く地域のスポーツクラブへと移行するなど、子どものスポーツを取り巻く環境も変化しています。

このような状況から、競技スポーツの水準向上や、生涯スポーツを推進していくためにも、各小中学校や地域のスポーツクラブ、各競技団体が連携を図りながら協働し、地域におけるスポーツ環境を構築していく必要があります。

第3章 理念と施策

I. 基本理念

スポーツ基本法では、スポーツの内在的な価値とともに、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進などスポーツの果たす役割の重要性が示されています。

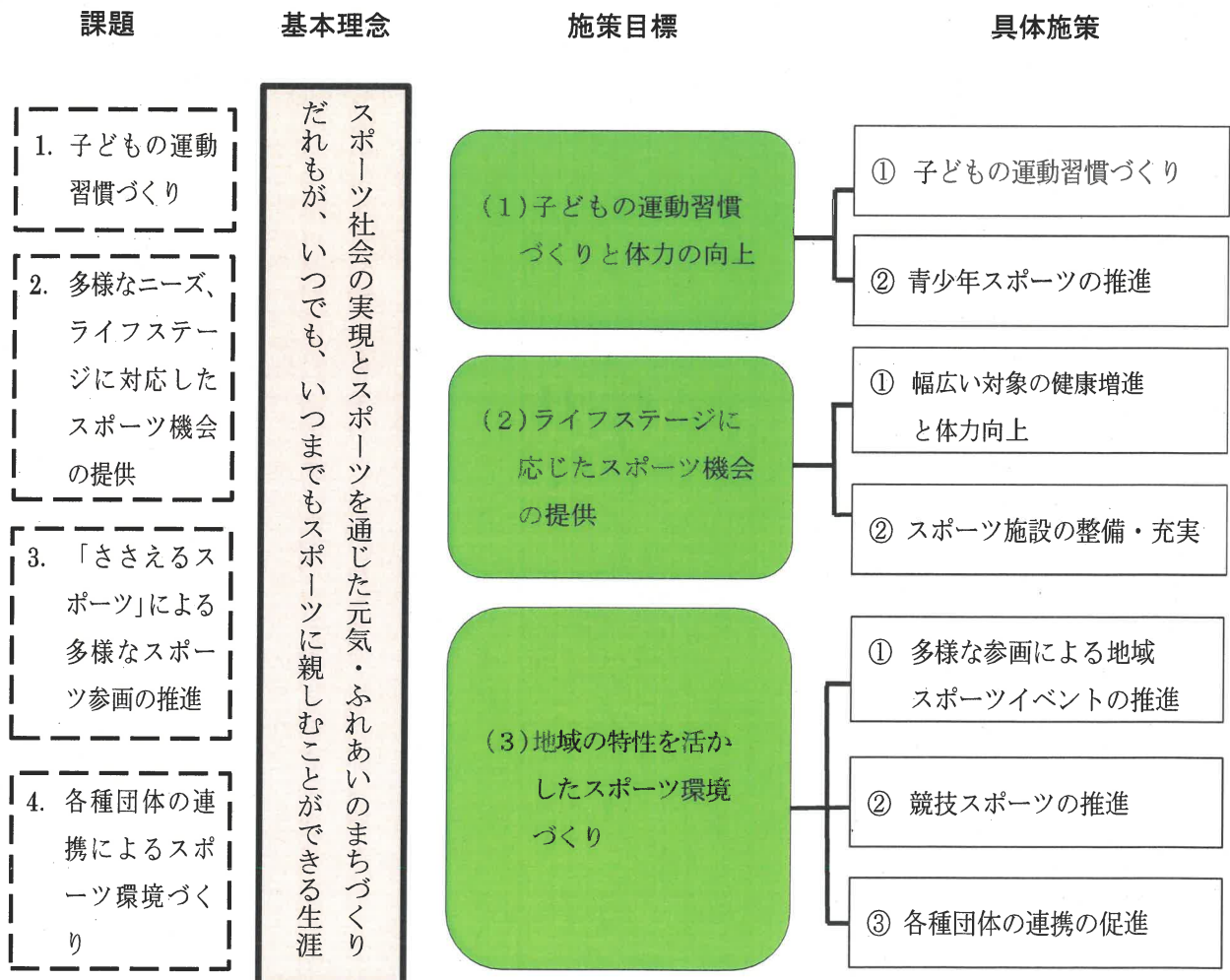
第2期海南市スポーツ推進計画においては、「だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた元気ふれあいのまちづくり」を基本理念として、人口減少や少子高齢化、社会情勢の変化に対応しながら、スポーツの力で地域に活力が生まれ、健康で明るいまちづくりを目指します。

基本 理念

だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる
生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた元気・ふれあいの
まちづくり

II. 計画の体系

計画の体系については、第1期計画の基本的な構造を踏襲し、本市の現状と課題を反映させたうえで、施策目標、具体施策などの見直しを行いました。



Ⅲ. 施策目標と基本施策

施策目標 1. 子どもの運動習慣づくりと体力の向上

今回のアンケート調査及び指標の結果では、本市の子どもの体力は、全国平均を上回る数値を記録していますが、生活様式の変化などから、小学校低学年では運動（外遊び）離れの傾向がうかがえます。現在の子どもの体力を維持していくためには、幼児期からの運動や外遊びを奨励するなど、継続的な運動習慣づくりが重要です。このことから、低年齢期においては親子でスポーツができる環境づくり、就学後は、学校や地域における子どもの成長過程に応じたスポーツ機会の充実に努めることとします。

《成果指標》

指標①	現状値（令和元年度）	目標値（令和7年度）
子どもの体力・運動能力テストの数値※1	小学5年男子 51.3	全国平均（50.0） を上回る
	小学5年女子 52.3	
	中学2年男子 50.1	
	中学2年女子 50.6	

※1：全8種目の合計点のTスコア（全国平均を50とした場合の相対的な位置）による。

指標②	現状値（令和2年度）	目標値（令和7年度）
運動好きな子どもの割合 （小・中学生）※2	80.8%	85.0%

※2：海南市民のスポーツ意識に関する調査

指標③	現状値（令和2年度）	目標値（令和7年度）
スポーツ少年団や地域のスポーツクラブで運動している割合※3	53.9%	60.0%

※3：海南市民のスポーツ意識に関する調査（小学校低学年と高学年の平均）

《具体施策》	子どもの運動習慣づくり	
<p>●幼児期の身体活動の促進</p> <p>生涯にわたってスポーツを楽しむ基礎を培うため、親子スポーツの普及や多世代が交流できるスポーツイベントの開催に努めます。幼稚園での体力アップセミナーの実施や子育てひろばで実施している親子ヨガや体操教室など、幼児期から身体を動かす機会づくりを行います。</p> <p>●学校における体育活動の充実</p> <p>子どもの運動離れに歯止めをかけ、運動への親しみを持たせる取り組みや、体育活動の充実、保護者への啓発等を行うための「子ども体力アップ推進事業」などを実施し、小学校では体力向上に係る研究指定校の指定、中学校では体力・運動能力テストのデータ分析などを行います。</p>		
《対象事業》	親子体操事業	(担当課：生涯学習課)
	子ども体力アップ推進事業	(担当課：学校教育課)
	ファミリースポーツ推進事業	(担当課：生涯学習課)

《具体施策》	青少年スポーツの推進	
<p>●地域でのスポーツ活動の支援</p> <p>地域での青少年のスポーツ活動は、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどが主な活動の場であることから、子どもの身近なスポーツ環境の整備が必要です。各団体の活動支援に加え、団体間の連携を強化し、子どもたちが様々なスポーツに取り組める環境づくりに努めます。また、スポーツを行う習慣が身についていない子どもへのスポーツの習慣化に繋げていくためのきっかけづくりなども行い、地域でのスポーツ活動を支援します。</p> <p>●中学校クラブ活動の支援</p> <p>中学校クラブ活動の外部指導者の派遣、公式大会への生徒の旅費補助などを行い、また、体育施設の学校部活動への積極的活用を促すなど、中学校の部活動の推進に努めます。</p>		
《対象事業》	スポーツ少年団事業	(担当課：生涯学習課)
	総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議事業	(担当課：生涯学習課)
	ファミリースポーツ推進事業	(担当課：生涯学習課)
	運動部活動指導者派遣事業	(担当課：学校教育課)
	部活動振興補助事業	(担当課：学校教育課)
	中学校運動部競技力強化事業	(担当課：生涯学習課)

施策目標2. ライフステージに応じたスポーツ機会の提供

国の「第2期スポーツ基本計画」では、全ての人々がそのライフステージや個性に応じてスポーツを楽しむことができる環境づくりをすすめています。本市においても、「だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに取り組める生涯スポーツ社会の実現」のため、それぞれの生活スタイルや、ライフステージに応じてスポーツに取り組むことができる環境づくりをすすめます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、我々の生活様式は大きく変化し、スポーツに対するニーズもさらに多様化していくことが予想されるなか、スポーツ施設の整備やスポーツ情報の提供など多様なニーズに応じたスポーツ環境の整備に努めます。

《成果指標》

指標④	現状値（令和2年度）	目標値（令和7年度）
週1回30分以上の運動（散歩も含む）やスポーツを行っている割合（%）※4	47.7%	55.0%

※4：海南市総合計画基本計画に関する市民アンケート

指標⑤	現状値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
スポーツ施設（社会体育施設）の利用人数（人）	411,104人	420,000人



《具体施策》	幅広い対象の健康増進と体力向上	
<p>●高齢者の健康づくり</p> <p>高齢者の健康寿命を伸ばすための取り組みとして、身近なところで気軽に運動を体験する機会の増加を図り、高齢者の健康増進・体力向上に取り組みます。またその際には、運動に関する高い専門性を有する総合型地域スポーツクラブなどの専門職と連携し、より効果の高い事業の実施に取り組みます。</p> <p>●多様な対象へのスポーツ機会の提供</p> <p>ビジネスパーソンや女性、子育て世代など様々なライフステージの方々が、その生活スタイルに応じて気軽に参加できる運動・スポーツの教室等を実施し、多様なスポーツ機会の提供に努めます。また、スポーツイベントなどを開催する際には「バリアフリー化」を図り、障害のある人と障害のない人が同じ場所で運動スポーツができる環境づくりに努めます。</p>		
《対象事業》	生きがい教室開催事業	(担当課：生涯学習課)
	地域健康づくり事業	(担当課：健康課)
	一般介護予防事業	(担当課：高齢介護課)
	障害者スポーツ大会等事業	(担当課：社会福祉課)

《具体施策》	スポーツ施設の整備・充実	
<p>●スポーツ施設の整備・充実</p> <p>既存のスポーツ施設は、建設から長い期間が経過しているものも多く、市民が安全で快適にスポーツに取り組むために、利用者ニーズに応じた施設修繕、改修、バリアフリー化を行い、施設の機能強化を図ります。また、施設の維持管理においては、指定管理者制度を導入し、専門的知識やノウハウを持つ民間事業者等を指定し、サービスの向上を図っていくことで、施設の設置の目的を効果的に達成することを目指します。</p> <p>●学校体育施設の活用</p> <p>また、市民の身近なスポーツ施設として学校体育施設の利用を積極的に推進するため、施設の維持改修等の整備を行います。</p>		
《対象事業》	社会体育施設整備事業	(担当課：生涯学習課)
	社会体育施設維持管理事業	(担当課：生涯学習課)
	学校体育施設開放促進事業	(担当課：生涯学習課)

施策目標3. 地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり

国の「第2期スポーツ基本計画」では、「スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現」を施策の柱としてかかげており、スポーツは「する」だけでなく、「みる」ことで感動し、活力をもらい、「ささえる」ことで多くの人々が交流し、より強い社会の絆を創り出すことができます。本市においても、そのスポーツの力を活かした地域の特色ある事業を実施し、スポーツを通じた地域の活性化に努めます。

《成果指標》

指標⑥	現状値（令和2年度）	目標値（令和7年度）
スポーツイベントの満足度（%）※5	56.7%	65.0%

※5：海南市民のスポーツ意識に関する調査

指標⑦	現状値（令和2年度）	目標値（令和7年度）
本市のスポーツイベントに参加したことがある割合（%）※6	38.8%	50.0%

※6：海南市民のスポーツ意識に関する調査



《具体施策》	多様な参画による地域スポーツイベントの推進	
	<p>●スポーツイベントによる地域の絆づくり</p> <p>「みる」スポーツ「ささえる」スポーツとしても、スポーツには様々な効果が期待できるため、「スポーツボランティア」など地域の方々の多様な参画のもと地域スポーツイベントを開催し、スポーツによる地域づくりをすすめ、人と人、地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するなど、地域の活性化に寄与できるようスポーツにおける好循環を創出します。</p>	
《対象事業》	きのくに海南歩つとウオーク開催事業	(担当課：生涯学習課)
	海南市駅伝競走大会開催事業	(担当課：生涯学習課)

《具体施策》	競技スポーツの推進	
	<p>●競技スポーツの推進</p> <p>トップアスリートや、地元出身のスポーツ選手の活躍を「みる」ことにより、感動と活力をもらうことができるのがスポーツの力であり、様々なステージで活躍する選手を育成するためには、行政と関係機関の連携が重要です。このため、市体育協会や各種団体との連携を強化し、スポーツ大会や研修会の開催などを支援します。</p> <p>●スポーツ指導者の育成</p> <p>スポーツ選手の育成・指導に寄与した指導者や、競技において優秀な成績を収めた選手を称えスポーツ賞を授与するなど、スポーツ指導者の育成に努めます。</p>	
《対象事業》	海南ジュニアランニングチャレンジ開催事業	(担当課：生涯学習課)
	市町村対抗ジュニア駅伝競走大会選手派遣事業	(担当課：生涯学習課)
	スポーツ賞表彰事業	(担当課：生涯学習課)

《具体施策》	各種団体の連携の促進	
	<p>●スポーツ関係団体の支援</p> <p>本市の体育協会は、30団体から構成されており、競技力向上やスポーツ人口の拡大のため様々な事業を実施しています。また、市内の総合型地域スポーツクラブでは、「多世代」「多志向」「多種目」をテーマにした多様な活動を展開しており、各団体の活動を支援し、競技スポーツ及び生涯スポーツの振興を図ります。</p> <p>●関係団体の連携強化</p> <p>少子高齢化や社会情勢の変化により、スポーツに対するニーズの多様化が見込まれるなか、各団体間の連携を図り、ニーズに応じたスポーツ事業を実施することができるよう連携強化を図ります。</p>	
《対象事業》	競技団体活性化事業	(担当課：生涯学習課)
	総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議事業	(担当課：生涯学習課)

～ 補 足 資 料 ～

海南市体育協会

海南市体育協会は、令和2年4月現在、協会や連盟などの30競技団体から組織され、昭和31年4月1日発足以来、半世紀以上にも亘って海南市の体育振興を目的に活動している市内最大のスポーツ団体です。

各種競技会開催はもとより、その組織力を活かしたスポーツ大会運営支援により、市民に密着したスポーツ活動を展開しています。

海南市スポーツ推進委員会

海南市スポーツ推進委員会は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第32条に基づき、海南市教育委員会から非常勤の公務員として委嘱されるスポーツ推進委員により組織された団体です（平成17年4月1日発足、平成23年11月16日現在の名称に変更）。

令和2年4月現在26名の委員が活動し、スポーツイベントの企画・調整、海南市駅伝競走大会の役員など、本市の主要な各種イベントにおける運営、及び補助を行い、重要な役割を担っています。

海南市スポーツ少年団指導者協議会

スポーツ少年団は、「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に、小中学生を中心に組織されている日本最大の青少年スポーツ団体です。

活動は主に小学校単位で行われており、本市には年間を通じて一つの種目を行う単一種目型がほとんどです。

市内では、令和2年10月現在で32団が活動しており、各団の指導者で海南市スポーツ少年団指導者協議会を組織し（平成18年4月1日に旧称の海南市スポーツ少年団代表者連絡協議会発足、平成26年4月30日に現在の名称に変更）、スポーツ少年団事業を行っています。

海南市総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議

海南市総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議は、市内に拠点を置く総合型地域スポーツクラブ関係者により、市民へのスポーツ機会の提供やスポーツによるまちづくり活動とおしてスポーツコミュニティ形成を促進し、地域スポーツの振興に寄与することを目的に組織された団体です（平成24年11月12日発足）。

今後についてもクラブと地域の連携・発展を目指し活動していくこととなっています。

海南市体育協会 加盟団体（全 30 団体）

海南市軟式野球連盟	海南市少年野球連盟
海南市ソフトボール協会	海南サッカー協会
海南市バレーボール協会	海南市バスケットボール協会
海南市ソフトテニス連盟	海南市テニス協会
海南市卓球協会	海南市バドミントン協会
和歌山県剣道連盟海南支部	和歌山県柔道連盟海南支部
海南市空手道連盟	海南市少林寺拳法協会
海南市躰道協会	和歌山県銃剣道連盟海南支部
合気道竹豊館海南道場	海南海草地方陸上競技協会
海南市水泳協会	海南市ゲートボール協会
海南市グラウンドゴルフ協会	海南武術太極拳連盟
海南市ダンススポーツ連盟	海南フットサル協会
日本拳法海南支部	ユニサイクル海南タートルズ
和歌山海南市パークゴルフ協会	海南市カローリング協会
海南海草ソフトバレーボール連盟	海南市スポーツ少年団指導者協議会

(順不同)

海南市内の総合型地域スポーツクラブ（全 3 団体）

NPO 法人	スポーツ・リパブリック・ソラティオーラ和歌山	(平成 17 年 11 月設立)
NPO 法人	ゆうゆうスポーツクラブ海南	(平成 19 年 3 月設立)
NPO 法人	下津スポーツクラブ	(平成 20 年 3 月設立)

海南市内のスポーツ少年団一覧（全 32 団体）

主な活動競技・種目	団名称（スポーツ少年団）	主な活動施設
野球（全 9 団）	巽ほがらか少年野球クラブ	巽小学校（運動場）
	黒江日方少年野球クラブ	黒江小学校（運動場） 日方小学校（運動場）
	大野内海スポーツ少年団	内海小学校（運動場） 大野小学校（運動場）
	北野上少年野球クラブ	北野上小学校（運動場）
	中野上少年野球クラブ	中野上小学校（運動場） 東海南中学校（運動場）
	亀川少年野球団	亀川小学校（運動場） 市民運動場 東部運動場
	下津野球スポーツ少年団	下津小学校（運動場）
	加茂仲良シクラブ	加茂川小学校（運動場） 大東小学校（運動場）
	Rising Stars	日方小学校（運動場） 東海南中学校（運動場）
バレーボール（全 7 団）	日方少女バレーボール	日方小学校（体育館）
	巽少女バレーボール	巽小学校（体育館）
	北野上少女バレーボール	北野上小学校（体育館） 中野上小学校（体育館）
	JVC下津	下津小学校（体育館）
	STARS	加茂川小学校（体育館）
	紀の国VBC	大東小学校（体育館）
	大野バレーボールクラブ	大野小学校（体育館）

主な活動競技・種目	団名称 (スポーツ少年団)	主な活動施設
サッカー (全5団)	黒江少年サッカークラブ	黒江小学校 (運動場)
	巽少年少女サッカークラブ	巽小学校 (運動場) 巽中学校 (運動場)
	F.C. VIOLA	日方小学校 (運動場) 内海小学校 (運動場)
	下津サッカークラブ	下津小学校 (運動場)
	海南フットボールクラブ	海南スポーツセンター 南野上小学校 (運動場) 市民運動場
剣道 (全4団)	海南弘道館	総合体育館 海南中学校 (体育館) 第三中学校 (体育館)
	亀川若竹会	亀川小学校 (体育館)
	巽剣道教室	巽中学校 (体育館)
	加茂郷少年剣道クラブ	第三中学校 (体育館) 下津第一中学校 (体育館) 下津第二中学校 (体育館)
少林寺拳法 (全2団)	海南中野上	東海南中学校 (体育館)
	海南黒江支部	黒江小学校 (体育館)
日本拳法 (全2団)	海南拳友会	総合体育館 下津第二中学校 (体育館)
	藪井道場	巽中学校 (体育館) 下津第一中学校 (体育館)
空手 (全2団)	海南市空手道	総合体育館 市民体育館
	下津空手	大東小学校 (体育館)
ソフトテニス (全1団)	下津ジュニアソフトテニス	下津テニスコート

(令和3年2月現在)

海南市の社会体育施設

施設名	所在地・連絡先	施設の概要
総合体育館	海南市大野中 1106 番地 Tel 483-4300	体育場 (バスケットボール 2 面・バレーボール 2 面・バドミントン 6 面) 第 1 体育室・第 2 体育室・トレーニング室・卓球室・研修室
市民体育館	海南市日方 1274 番地 Tel 483-4300 (総合体育館事務所)	体育場 (バレーボール 1 面・ソフトバレー 3 面・バドミントン 3 面)
拝待体育館	海南市下津町下津 500 番地 1 Tel 492-4546	体育場 (バスケットボール 2 面・バレーボール 2 面・バドミントン 6 面・ソフトテニス 2 面)
市民運動場	海南市大野中 1006 番地 Tel 483-4300 (総合体育館事務所)	12,398 m ² (南北 115m、東西 110.5m)・夜間照明設備・本部席・観覧席 300 席 (球場として)本塁センター間 122m、レフト 97m、ライト 93m
東部運動場	海南市木津 382 番地 Tel 487-4400	7,248 m ² 夜間照明設備
沖野々スポーツ広場	海南市沖野々 278 番地 1 Tel 487-4400 (東部運動場事務所)	11,376 m ² 多目的広場
下津総合運動場	海南市下津町下 647 番地 Tel 492-3364 (生涯学習課)	11,376 m ² 多目的広場
市民テニスコート	海南市大野中 1106 番地 Tel 483-4300 (総合体育館事務所)	人工芝コート 2 面 夜間照明設備
東部テニスコート	海南市木津 382 番地 Tel 487-4400 (東部運動場事務所)	人工芝コート 6 面 夜間照明設備
下津テニスコート	海南市下津町上 14 番地 Tel 492-4546 (拝待体育館事務所)	人工芝コート 2 面 夜間照明設備
丸田ゲートボール場	海南市下津町丸田 269 番地 2 Tel 492-3364 (生涯学習課)	ゲートボールコート 1 面
梅田ゲートボール場	海南市下津町梅田 552 番地 3 Tel 492-3364 (生涯学習課)	ゲートボールコート 4 面
市民温水プール	海南市且来 1387 番地 3 Tel 483-8731	25m公認プール (6 コース)・チビッコプール 研修室
下津室内プール	海南市下津町方 453 番地 Tel 492-0276	25mプール (7 コース)
海南スポーツセンター	海南市船尾 260 番地 3 Tel 486-2870	人工芝コート (フットサル 3 面・ジュニアサッカー 1 面) 体育館・管理棟 (体育室・会議室・宿泊施設)

休館日…12月29日から翌年の1月3日まで。

但し、上記に加えて市民温水プールは毎週月曜日、下津室内プールは毎週水曜日。

計画の策定経過

日 程	項 目	主な内容
令和2年2月28日	令和元年度海南市スポーツ推進審議会	○海南市スポーツ推進計画の見直しについて（諮問）
令和2年8月	海南市民のスポーツ意識に関する調査の実施	○市民を対象にスポーツに関する状況を把握するためのアンケートを実施
令和2年10月22日	令和2年度第1回海南市スポーツ推進審議会	○アンケート結果及び成果指標の達成状況について
令和2年12月22日	令和2年度第2回海南市スポーツ推進審議会	○第二期海南市スポーツ推進計画（素案）について
令和3年2月1日 ～ 令和3年2月19日	パブリックコメントの実施	
令和3年3月18日	令和2年度第3回海南市スポーツ推進審議会	○パブリックコメントの結果について ○第二期海南市スポーツ推進計画について（答申）

海教生第 896 号
令和 2 年 2 月 28 日

海南省スポーツ推進審議会
会長 瀬川 禎彦 様

海南省教育委員会
教育長 西原 孝幸

海南省スポーツ推進計画の見直しについて（諮問）

このことについて、海南省スポーツ推進審議会条例第 2 条の規定に基づき、下記のとおり諮問いたします。

記

諮問事項

平成 28 年 3 月に策定した「海南省スポーツ推進計画」についての見直し

諮問理由

海南省においては、平成 23 年 3 月に、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を見据えた「海南省スポーツ振興基本計画」を策定し、「子どもの体力の向上」「生涯スポーツ社会の実現」「競技スポーツ」の実現に向けた課題と対策を検討し、計画の推進を図っております。また同計画では、国の計画見直しや社会情勢の変化に対応するため、また、和歌山国体での成果や課題も踏まえ、策定から 5 年後の平成 27 年度に計画の見直しを図ることとしていました。

これに伴い、平成 28 年 3 月に「海南省スポーツ推進計画」を策定しましたが、本計画は、平成 28 年度から令和 2 年度（平成 32 年度）までの 5 年間の計画期間としています。

国においては、平成 23 年 8 月に「スポーツ振興法」を 50 年ぶりに全面改正する「スポーツ基本法」が施行され、地方公共団体は「地方スポーツ推進計画」を定めるよう努めることとされています。

また、平成 29 年 3 月には、第 2 期「スポーツ基本計画」が策定されました。

このような諸情勢を踏まえ、本市の実情に即した「海南省スポーツ推進計画の見直し」について、検討する必要があります。

【検討すべき事項】

- 1 海南省のスポーツ推進について
- 2 その他

海ス推審第 4 号
令和 3 年 3 月 18 日

海 南 市 教 育 委 員 会
教 育 長 西 原 孝 幸 様

海南市スポーツ推進審議会
会 長 瀬 川 禎 彦

第 2 期海南市スポーツ推進計画（案）について（答申）

令和 2 年 2 月 28 日付け海教生第 896 号で諮問のありました「海南市スポーツ推進計画の見直し」について、慎重に審議した結果、別添のとおり答申いたします。

この計画が「スポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり」の実現を図るための行政運営の指針となることを期待します。

なお、計画の推進に当たっては、本審議会における意見を十分に尊重し、市民との協働のもと、計画の着実な実現に努められるよう要望します。

海南市スポーツ推進審議会委員名簿

役 職	委員氏名	所 属	備 考
会 長	瀬川 禎彦	海南市体育協会	海南市体育協会 会長 NPO法人 下津スポーツクラブ 理事長 海南市カローリング協会 会長
副会長	菱田 實	海南市体育協会	海南市体育協会 理事長 海南市ソフトボール協会 会長
委 員	和田 通尚	中学校体育連盟	亀川中学校 校長
委 員	畑中 秀紀	スポーツ少年団	海南市スポーツ少年団指導者協議会 常任委員
委 員	山形 拓史	小学校体育連盟	亀川小学校 校長
委 員	本山 貢	学識経験者	国立大学法人和歌山大学 教育学部長
委 員	小西 保行	スポーツNPO団体	NPO法人 ゆうゆうスポーツクラブ海南 クラブマネージャー
委 員	奥野 修造	スポーツNPO団体	NPO法人 スポーツ・リパブリック・ ソラティオーラ和歌山 理事長
委 員	前北 美穂	公募委員	スポーツ少年団保護者会 運営経験

第2期海南市スポーツ推進計画

発行

海南市教育委員会

〒649-0121

海南市下津町丸田217-1

TEL : 073-492-3364

FAX : 073-492-3390

